

アテムコ社の耐熱セラミック接着剤

セラマボンド 618N

「セラマボンド 618N」はアテムコ社が開発したシリカを基材とした新タイプの耐熱セラミック接着剤で、ポーラスで膨張率の低いセラミックス、ガラス、水晶などの接着に用いられます。耐熱上限は1, 650°C。

特性

「セラマボンド 618N」は1液性でリン酸アルミニウムのバインダーにシリカ主成分のセラミックコンパウンドを充填していますので、膨張係数の低いモリブデンやタンゲステンメタルをはじめ、セラミックス、水晶、ガラスなどに強力な接着性を発揮します。

トルク強度は 77 ft-lbs、絶縁性は 156 volts/mil、熱膨張係数は 0.59×10^{-6} in/in/°Cです。色は白色です。

「セラマボンド 618N」は酸やアルカリにも強く、侵されにくい特性を持っています。

使い方

「セラマボンド 618N」は無機の水分散性システムにしているため、ハケ又はシリンジで簡単に塗布出来ます。塗布後は1～4時間常温乾燥させ、93°Cで2時間、260°Cで2時間、370°Cで2時間、段階的に焼成すれば完全に硬化します。なお、その後538°C以上の温度にさらされるとより強固になります。焼成前の状態であれば、温水と石鹼で簡単に落とせます。

適用例

主な使用例としては、赤外線ヒーターへのクォーツの組込み、温度探針、歪みゲージ、酸素分析装置、ガスクロマトグラフ及び質量分析計、など

荷姿

1パイント(約500ml)と
1クォート(約1リットル)の
プラスチックボトル入り。



多孔質セラミックフィルターエレメントの接着